

コンカツプロジェクトが本格的に始動

コンカツ(昆鯉・婚活)プロジェクト

友好都市である北海道稚内市と枕崎市。両市の特産品「昆布」と「鯉節」から名前をとったコンカツプロジェクトの協議会設立全体総会が5月7日、枕崎市水産センターで開催され、市内の24団体から41人が

出席しました。

コンカツプロジェクト協議会会長 神園市長は、市民の協調のもとに商業並びに観光の発展助長を図り、人と人、町と町を結び、稚内市など連携しながら、本市の活

性及び経済の向上に寄与することを目的としています。

本年度は、市内料飲店を中心とした「縁結びそば」の開発や、お土産品として「縁結びお守り・お札」の製作、稚内市の独身女性を招待する婚活イベントの開催などが計画されています。

■問合せ 水産商工課商工振興係 TEL 72-1111(内線421)



interview



コンカツプロジェクト実行委員長 中釜 章智さん

コンカツプロジェクトが本格的に始動しました。これから、市民一人ひとりの気持ちと想いで枕崎が変わろうとしています。

食が人を、人が町を、町が町をつなげ、全てを結ばせることがこのプロジェクトです。この枕崎で結ばれる良縁は、男女の縁に限らず、幸せや健康、さらに商業や学業など全てにおいての縁として「幸せになれる町」、「縁結びの町」の枕崎として、経済と観光の向上につなげ、誰もが幸せを求めて枕崎に足を運びたいような町に発展させなければなりません。そのためにも、市民の皆さまの協力が必要であり、市民の一致団結によりコンカツプロジェクトに参加し、枕崎を素晴らしい町に変えましょう。そして未来ある枕崎を子どもたちに託せるように、「幸せのコンカツの町」づくりに向かって一緒に頑張りましょう。

結婚披露宴のお土産にかつお節パックはいかが？

かつお節は、雄節と雌節を合わせると夫婦一対となり、その形が亀の甲に似ていることから縁起の良いものとされ、古くから結婚式の引出物に使われてきました。

さつま鯉節協会では、さつま鯉節普及事業として、新郎新婦が披露宴で招待者をお見送りする際、お土産として配布するかつお節パックの提供を行っています。希望される方は、さつま鯉節協会までお申し込みください。

- 対象者
 - ・新郎新婦いずれかが枕崎市または指宿市地区の住民で結婚後も同地区内に居住する方
 - ・平成26年7月1日以降に結婚披露宴を開催する方
- パック提供数 披露宴招待者数
- 申込み方法 住所、氏名、連絡先(電話)、披露宴会場(所在地・施設名)、披露宴開催日、パック必要数

(招待者数)をお知らせください。
※式場を予約されたら早めのお申込みをお願いします。披露宴会場は枕崎市、指宿市以外でも構いません。

■問合せ・申込み さつま鯉節協会
・枕崎市に居住する方
枕崎市役所水産商工課商工振興係
〒898-0001 枕崎市松之尾町64番地
TEL72-1111(内線421) FAX73-1747

・指宿市に居住する方
山川水産加工業協同組合
〒891-0501
指宿市山川新栄町9番地
TEL0993-34-0155
FAX0993-34-0868



商店街活性化に補助制度

魅力ある商店街づくりへ

空き地・空き店舗を利用した新規出店

商店街団体や新規出店者が商店街の空き地・空き店舗を賃借して新規出店する場合などに、賃借料及び改装費の一部を補助します。

■対象事業
・空き店舗を活用し、新たに新店舗や駐車場に係る賃借料
・空き店舗の改修及び改装

新商品開発やイベント、施設整備に

・老朽空き店舗解体及び撤去
・新店舗及び駐車場の利用するための空き地の整備など

■補助対象者 新規出店者
※商工業者等を構成員として設立された法人または団体

■新商品開発やイベント、施設整備に
新商品開発やイベントなどのソフト事業や街路施設整備などのハード事業を行う商店街団体等に補助します。

チャレンジショップ出店者募集

お魚センターに出店してみませんか

商店街等のにぎわいと活性化を図るため、新たに事業を始める方を対象に、チャレンジショップの出店者を募集します。チャレンジショップは、お魚センター内の空き店舗を利用して行います。

■補助内容 家賃補助(月額家賃全額 最大24か月)

■補助対象者 市内の商店街またはお魚センターに出店

計画を持っている小売業、サービス業、飲食業等の出店希望者で、お魚センター内の空きテナントを活用する法人または個人

■問合せ 水産商工課商工振興係 TEL 72-1111(内線421)

妙見保育園が幼年消防隊を結成

妙見保育園の園児21人が隊員を務める「妙見幼年消防隊」が結成されました。

5月7日には枕崎市消防署で贈呈式が行われ、同園の下窪健太郎園長に纏、隊員の園児に法被が贈呈されました。

式の最後に幼年消防隊員は、全員で防火を誓いました。



枕崎小学校に時計を寄贈

枕崎小学校卒業生の橋本テミさん(大阪府在住)から、枕崎小学校に時計の寄贈がありました。

橋本さんは、「テレビで枕崎小学校の集団行動を見て、とても感激しました。お祝いをさせていただきたいと思ひ、心ばかりですが、贈らせていただきました」と話していました。

また、寄贈された時計は、枕崎建設業組合青建会(下木原慶会長)のボランティアにより設置されました。

枕崎市消防本部 救助技術指導会

5月2日、枕崎市消防本部で救助技術指導会が開催されました。塔の間に張られたロープを渡って要救助者を救出するロープブリッジ救出や塔の下にいる要救助者を引き上げ救出する引上救助など4種目でスピードや正確さ、安全性を競いました。

会には本市消防署員14人が参加し、市内保育園園児も見守る中、日頃の訓練の成果を披露しました。

